# しあわせがずっと続く村で あるために、 私たちが考えた事。

昭和村地域福祉計画·地域福祉活動計画(概要版) 2020年度~2024年度



福島県昭和村

## 私たちの村ってどんな村?

村保健福祉課や村社会福祉協議会、生活支援コーディネーター\*1が行った聞き取りや、アンケート 調査などで見えてきた皆さんの声※2をご紹介します。

- ※1 地域支え合い推進員とも呼ばれ、介護保険制度の改正によって配置
- ※2 村主催の協議体や村社会福祉協議会の交流事業等で寄せられたご意見

#### 村の人に聞きました

ご近所の仲がいい。おつき合いが濃厚。

自然豊かで、住みやすい。

高齢者がやさしい。

野菜づくりは、 高齢者の生きがい・ 役割づくり・おすそ分けが交流を活発に。

水がおいしい。

景観が悪くなるから、 コンビニはいらない。

> ガラスや障子が壊れている 空き家が多いので、 減らしたい。

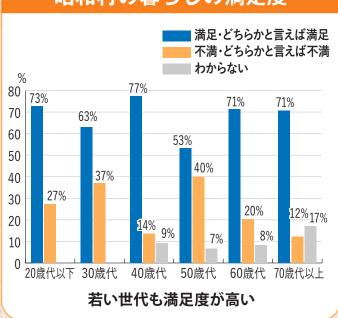
どこに行っても大人の目があって、 子どもたちだけで 集まれる場所がほしい。

博士のトンネル開通後に期待と不安がある。

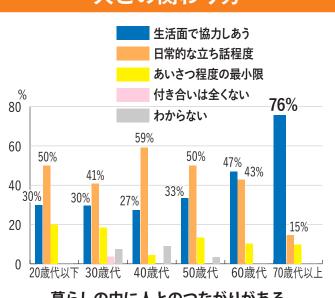
運転ができなくなった後の 通院や買い物に不安がある。

アンケート

### 昭和村の暮らしの満足度



# 人との関わり方



暮らしの中に人とのつながりがある

高齢者は、

地域の孫世代の面倒をみているから、 成長した後も

「〇〇ちゃん、どうしてる?」と 気にかけてくれるのがうれしい。

学校の生徒数が少ないので、 委員や係の仕事をこなす中で、 意見をしっかり言える子に育つ。

できるものなら、 一日でも長く、この村で暮らしていたい。

雪かたしがたいへん。

ご近所の人と 一緒に子育てをしている感じで、 都会よりも 子育てがしやすい。

子どもの声は、 都会では騒音のように 扱われるけれど、 昭和村では地域を元気に明るくするもの。

> この村で生きてきて、 不便だと思ったことはない。

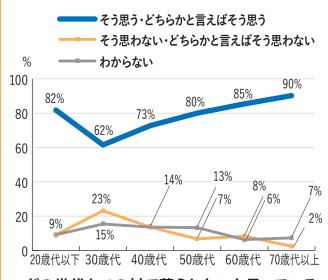
「昭和村の良いとこは?」 『私をふくめ美男、美女が多い』

### 生活を充実させるために必要だと思われるもの

	20歳代以下	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳代以上
豊かな趣味	2位	5位	4位	5位	4位	3位
やりがいのある仕事	4位	2位	3位	2位	2位	2位
経済力	4位	3位	2位	3位	2位	5位
和やかな付き合い	2位	4位	4位	4位	4位	3位
健康な体	1位	1位	1位	1位	1位	1位

いくつになっても人の役に立ちたいと望んでいる

### 今後も昭和村で暮らしたいか



どの世代もこの村で暮らしたいと思っている

## 昭和村の「しあわせポイント」

昭和村の暮らしの『しあわせポイント』を拾ってみました。 お互いに「ありがとう」と感謝しあえる暮らしが昭和村にはあります。



畑や花壇で 仕事をしながら、 世間話と情報交換!

解決していることも

生きる知恵、 創意工夫に満ちている



縄がない時は、 植物のツルで締めます。

------家族と地域の平安を願い、 神様への感謝を共同作業で 謙虚な心と 感謝を表す 機会や場所がある



困っている人がいたら放っておかない





「お達者くらぶ」と
「むらのカフェ メケ・メケ」では、
赤ちゃんから高齢者まで集まり交流





世代間交流を通じた 伝統の継承





集まりなどで みんなと過ごす時間が多く 友人も多い





「糸っぴき」は、 冬に女性同士で遊ぶ楽しみ



冬の課題である除雪は、 みんなで助け合って



打ち豆を みんなでつくって販売! 食文化の継承と生きがいに



音遊びや 季節行事を伝承 (1月は「だんごさし」) 昭和村地域福祉計画・地域福祉活動計画策定アドバイザー 東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋誠一さん

ここにある写真を見れば明らかですが、もともと 昭和村には互助が根付いています。だから、高齢化 率が高くても高齢者にとっては過ごしやすい。

これからは高齢者だけではなく、すべての世代に 過ごしやすい昭和村が大切になってきます。

次の頁で紹介する計画は、子供世代、若い親世代の意見も取り込んだ、将来の昭和村をみんなで共有するための基本になると思います。

### 一昭和村地域福祉計画 · 地域福祉活動計画—

### 基本理念

### みんなが役割をもち、いきいきと暮らせる村づくり

### 基本方針

1. 地域の良さを受けつぎ、守る環境づくり

みんなが役割をもって暮らしてきた その習慣を大切にし 自然豊かな環境で豊かな生活をおくる

3. 支え合いの地域づくり

もともとある村の強さや 伝統を大切にするとともに 未来に向けた支え合いの地域をつくる 2. 快適な環境づくり

日常生活を送るうえでの心配ごとや 不自由さをより快適にできるよう みんなで工夫し解決する

4. 安心して暮らせる地域づくり

暮らしの安心や安全の基本となる 互いを気づかい相談できる 良好な関係を大切にする

#### 「昭和村地域福祉計画」・「昭和村地域福祉活動計画」策定にあたって

- ◆地域福祉とは…住民が地域の中でともに支え合い、手助けや支援を必要とする人を地域の中で支えていくことが求められており、その地域の支え合いを、住民・地域・事業所・ボランティア・NPO・社会福祉協議会・ 行政が協働して行う取り組みです。
- ◆地域福祉計画とは…社会福祉法を根拠法とし、地域福祉の理念のもとに、みんなが協働し、地域福祉を総合的かつ計画的に推進するうえでの計画です。
- ◆昭和村の"地域福祉計画の特徴"…地域福祉を推進するうえで様々な人と関わり、いかに議論できるかを重視する点が特徴となっています。
- ◆地域福祉活動計画とは…住民が主体となって取り組んでいる地域福祉(活動)を支援するために、社会福祉協議会が策定する計画です。









### しあわせがずっと続く村であるために

ここまで、『私たちの村ってどんな村?』(P2-3)や『昭和村のしあわせポイント』(P4-5)で「人との関わりの多さ」や「皆が、誰かの、何かの役に立ちたいという思い」「暮らしの満足度の高さ」「これからもこの村で暮らしたいという願い」など、この村には孤立しないで安心して暮らせる「しあわせポイント」がたくさんあることに改めて気づかされました。

この『しあわせポイント』は、昭和村の文化であり先人たちから受け継いできたものだと思います。この幸せを「どうやったら続けられるだろうか?」、その答えを私たちは、今まで皆さんとともに、様々な機会をとおして探してきました。

そこでたどり着いた答えが

### 『誰かと、『隣の人と、みんなと、もっと話をしよう!』

という事でした。何かを決めるというような会議ではなく、気軽に話せる場を増やしたら 『しあわせポイント』がもっと増えるとは思いませんか?

自助

4つの助

互助・自助・共助・公助

#### 自分や家族でできること

- ・畑仕事、散歩、体操など
- ・いきいきと 役割をもって暮らす

互助

### 地域で力を合わせて できること

- ・近所づき合い、世代間交流、お茶飲み
- ・普請や講事など
- ・社会福祉協議会による互助の支援

共助 公助

### 制度化された相互扶助

- · 介護保険制度
- ・医療保険制度

#### 行政で取り組むこと

- ・公的福祉サービス
- ・個人や地域では どうにもならない 課題の解決を図る

一人の力は小さいように思うかもしれませんが、上の『4つの助』の図にあるように、 小さな自助や互助の力が、大きな共助・公助を動かす『歯車』になります。









### しあわせがずっと続く村であるために 🧡 🤧 皆さんで話せる場&窓口をご紹介します

### 昭和村の協議体=地域で話せる場

- 住民の自主的なお茶飲みや趣味の集まり
- 🧼 地域が主体となり行っている活動・行事
- むらのカフェ「メケ・メケー」
- 🥟 村が地域に出向いて行う事業
- その他

☆彡お声がけいただければ、 生活支援コーディネーターがお伺いします。 お気軽にお電話ください。





### 窓口の紹介

昭和村役場保健福祉課 ☎57-2645

昭和村社会福祉協議会 ☎57-2655

昭和村生活支援コーディネーター

社会福祉協議会 **☎**57-2655

昭和村生活支援コーディネーター

協議体=地域で話せる場は、「お互いさま」や「助け合いの心」を強くするとともに、 よりよい暮らしを送るための工夫や知恵を出し合う場ともなります。







…これじゃ 誰も幸せにはなりませんね